

第1学年3組 道徳科学習指導案

指導者 ○○ ○○

- 1 主題名 「よりよい学校生活、集団生活の充実」 内容項目 [C—1 5]
- 2 ねらい 集団生活を充実させるために大切なリーダー、リーダー以外の人の役割と責任を適切に判断できる。
- 3 資料名 「みんなで成功させよう」(光村図書)

4 主題設定の理由

(1) 指導の要点

小学校の段階では、特に高学年で、先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めることについて学んできている。

中学校の段階は、学校、学級、部活動などの様々な集団の中で互いに深く関わり合って相互理解を深め、それぞれの集団の中で人間的な成長を遂げる時期である。また、学校行事など、集団に所属している喜び、楽しさを感じる機会も多い。一方で、自我意識が高まりつつある中で、自己の思いを先行させてしまったり、集団の一員としての所属感や一体感を強く求め、排他的になってしまったりすることもある。

指導に当たっては、自らの所属する集団の目的や意義を理解するとともに、集団の成員一人一人が集団の中で役割と責任を自覚し取り組むことが、集団生活の充実につながることに気付くことができるよう、集団の在り方について多面的・多角的に考えられるようにする。

(2) 主題に関する生徒の実態

本学級は、明るく元気な生徒たちが多く、学校行事では、みんなで協力して学校行事を成功させようと前向きに行動することができる。一方で、リーダーはリーダー以外の人とのコミュニケーション不足になったり、感情的に行動してしまい空回ってしまったりしている姿が見られる。そして、リーダー以外の人にはリーダーを支えるために自分ができることについて考えたり、行動したりすることができず、自分本位な行動をしてしまう生徒も少なくない。

また、普段の学校生活では、係の仕事については、忘れずに取り組んでいる生徒が多い一方で、給食や掃除の当番活動では、遊びたい気持ちを優先し給食当番の仕事をせずに遊んでしまったり、掃除をきちんと行っていない生徒がいる。本実践では、リーダー、リーダー以外の人々の視点や役割、責任について考えることを通して、これまでに生徒が集団生活を充実させるためにできていたことについて価値付けするだけでなく、自分の個性や特性に適した立場から集団の目標を達成させるために何ができるのかを判断していくことが集団生活の充実につながるのだということに気付かせたい。

(3) 教材の特質と取り上げた意図

集団の目標を達成するためには、リーダーが率先して行動したり、協力して行動したりすることが大切だと分かっているがそれだけでは足りないことに気付いていない生徒が多い。特に、リーダー以外の人々の立場の生徒は、リーダーの話を聞いたり、指示が出たら従えばよいと思っていたり、リーダーを支えるための判断ができていない生徒が見られる。リーダー、リーダー以外の人々の視点から、リーダーやリーダー以外の人にとって大切なことについて考えたり、自分の役割をただこなすのではなく責任をもって果たすことについて考えたりすることを通して、今まで気付かなかった集団の目標を達成し、集団生活を充実させるためにリーダー、リーダー以外の人にとって大切なことに気付けるようにしたい。

5 全体的な指導の構想

【1年生の道徳科における指導】	各教科・特別活動等との関連
＜事前指導＞ 1年3組は協力して生活できている学級かどうかのアンケートを実施して、学級の実態を把握する。 7月 第2週（本時） （1）資料名『みんなで成功させよう』〔C－15〕 □主発問……リーダーやリーダー以外の人が大切にしなければいけないことは何だろうか。 ＜事後指導＞ 全員の意見をプリントにまとめて、朝読書の時間に配付し、多面的・多角的な考え方があることを実感できるようにする。	5月 第2週 学級活動 □活動名 「全校話し合い学活②」 5月 第5週 学校行事 □活動名 「体育祭への参加」 6月 第1週～ 音楽 □題材名 「混声合唱の響きを味わおう」 9月 第1週 学級活動 □活動名 「全校話し合い学活③ 南中祭に向けて」
【2年生の道徳科における指導】	
（2）資料名『テニス部の危機』〔C－15〕	
【3年生の道徳科における指導】	
（3）資料名『巣立ちの歌が聞こえる』〔C－15〕	

6 本校の重点内容項目との関連について

本校では、学校教育目標である「ただこの時に燃えよー顔はひまわり、心は思いやりー」の下、全ての子どもが、毎朝、喜び勇んで登校できるようにするために魅力ある学校づくりに努めている。そのため、今年度は3つの重点内容項目のうちの1つを、「C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実」とした。

入学して少し学校生活にも慣れてきたこの時期に、学校の重点内容項目である「集団生活の充実」を意図的に取り扱い、魅力ある学校を目指す上での第一歩として、集団生活を充実させていくために、自分に何ができるのかをじっくりと考えられるようにしたい。

7 本時の計画

(1) ねらい

集団生活を充実させるために、大切なリーダー、リーダー以外の人々の役割と責任を適切に判断できる。

(2) 展開

指導段階		学習活動・ 主な発問	想定される生徒の学習状況
導入	問題意識をもつ	1 「1年3組は協力しているクラスだ」のアンケート結果を見て、自分たちの学級の現状を知る。 私たちの学級の目標を達成するために大切なことはどんなことだろうか。	・「自分よりも、協力し合えていると思っている人が多いな」 ・「100%協力し合っているクラスにするためには何が足りないのだろう」
展開前段	資料を通して学び合う	2 割り当たった信悟のグループのメンバーの問題点をグループごとに話し合い、全体で整理する。 信悟さんのグループがうまくいかなかったのは、メンバーの何が問題だからでしょう？	・「リーダーの信悟さんの問題点は、相談せずに分担を決めたこと」 ・「リーダー以外の人々の杉山さんの問題点は、できないと思った時に相談しないこと」 ・「リーダー以外の人々の上田さんの問題点は、自分の分担以外はやろうとしないこと」 ・「リーダー以外の人々の西口さんや林さんの問題点は、意見や不安があるのに伝えないこと」
展開後段	資料から離れて学び合う	3 信悟のグループのメンバーの問題点や、これまでの自分の経験などに関連付けながら、小グループで話し合う。 リーダーやリーダー以外の人々が、大切にしなければいけないことは何だろうか？ 4 グループで話し合ったことを、全体で共有し、多角的・多面的な考え方があることを確認する。	(リーダー) ・「みんなとコミュニケーションを取ることが大切」 ・「一人で決めないでみんなの意見を取り入れる」 ・「一人で何でもやろうとせずに、苦手なことはメンバーに手伝ってもらおう」 (リーダー以外の人) ・「リーダーも完璧じゃないから、助けてあげたり、意見や考えがあるときはしっかり伝えたりする」 (共通) ・自分以外の人々の進み具合にも気を配る。 ・自分の思った通りにいかなかったときは他人を責めるのではなく、協力し合ったり、励まし合ったりすることが大切だ。
終末	整理とまとめ	5 振り返りの視点を踏まえながら、授業の振り返りをワークシートに記入する。 今日の授業を振り返り、よりよい集団生活を送るためにこれまでにできていたことや大切だと思ったことをまとめましょう。 ○振り返りの視点 ①これまでの自分にもできていたこと ②自分にもできそうな、新たに加わった見方や考え方	・「自分は人前に立って仕切るのが苦手けど、いろいろな考えを出すことはできた」 ・「私は見通しをもって計画を立てるのが得意だから、それをもっと生かせばリーダー以外の人としての責任を果たす行動になるかも」 ・「自分のことだけではなく、みんなの様子に気を配ることが大切だと分かった」

□=ICTの活用目的

□=(1)の「ねらい」を十分に達成している姿

指導の目的と手立て	見取りたい生徒の姿
・ロイロノートで実施したアンケート結果を基に、生徒が授業開始時点での自分たちの学級についての自己評価ができるようにする。	○「100%協力し合うクラス」になるために、もっと自分たちにできることがあるのではないかという問いかけに頷きながら反応している。
・集団の目的を達成するには、個人としてではなくチームとして取り組むことが必要であると気付けるよう、それぞれの問題点を黒板に上下対比型で整理する。 ・生活班ごとに信悟のグループのメンバーを割当て、それぞれの問題点について短時間で話し合えるようにする。	○リーダーの問題点やリーダー以外の人の問題点を自分なりに考え、話し合っている。
・生徒から出たリーダーやリーダー以外の人が大切にしなければいけないことは、リーダーとリーダー以外の人からの立場の意見なのか、視覚的に分かりやすいように色分けをして板書する。 ・自分とは違う立場から、リーダーやリーダー以外の人にとって大切なことについて考えることができている生徒を意図的に指名し、全体で共有する。 ・最初は個で考え、自分の意見をもってから他の生徒と意見交換するように促すことで、自分の考えを深めたり、自信をもったりすることができるようにする。	○リーダーとリーダー以外の人、それぞれにとって大切なことについて、中学校に入学してからの学校生活や学校行事でできていたことや足りなかったことについて振り返りながら考えを深め、自分なりに考えたり、話し合い活動で考えを交流する中で、頷いて話を聞いたり、自分の経験と結び付けて話している。
・中学校に入学してから、様々な場面で経験してきたリーダーやリーダー以外としての立場で、できていた部分について書くように促し、価値付けする。 ・自分の個性を踏まえて、集団で活動していくときに生かせることは何か考えるように促すことで、自分自身と向き合えるようにする。 ・授業で学んだことや考えたことをまとめることで、学習内容の自分の考えの深まりを自覚できるようにする。	リーダーやリーダー以外の人として、学級の目標を達成するために、責任をもってやり遂げたことや、自分にできそうなことを1つ以上記入している。(ワークシート)